

オンライン導入前【検索・予約】

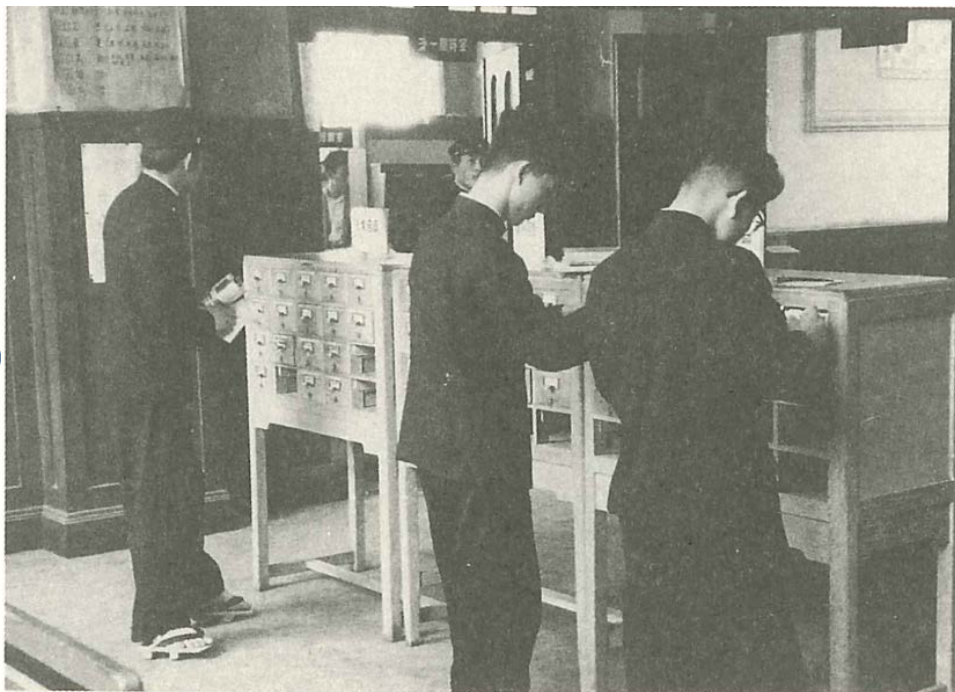
中央図書館が開館したことで、横浜市立図書館全館がネットワークでつながりました。中央図書館のホストコンピュータが、横浜市立図書館全館にある本の「書誌」(本のタイトルや著者名、出版社、内容など)と動態情報(1冊1冊の本が、貸出中かどうかといった情報)を管理するようになりました。ではネットワークでつながる前の図書館はどうだったのでしょうか？

その1 本を探すとき

【以前】 図書館に来て、目録カードを利用して探しました。

目録カードは、書名、著者名などの50音順に並んでいたのですが、それらがわからないと、本を探せませんでした。

引き出しの中には目録カードがぎっしり入っています。一枚一枚カードをめくって本を探しました。



■ 目録室(『横浜の本と文化』より)



■ 目録カード(『図書館報「こだま」no.55』より)

その2 本が図書館にあったとき

【以前】 目録カードがみつきり、探している本がその図書館にあるとわかって、あるはずの本棚になかった場合、その本が貸出中なのか、図書館の中で見ている人がいるのか分かりませんでした。

その3 本を予約したとき

【以前】 本が返却されたときに、職員が予約が入っているかどうか目視でチェックしていました。

その4 他の図書館の本を探すとき

【以前】 市立図書館全館の総合目録がなかったので、職員さえ他の図書館の所蔵情報が分かりませんでした。利用の希望があると、電話やFAXで他の図書館に問い合わせをして、それぞれの図書館の職員が、目録カードや台帳をチェックして本を探しました。

連絡車が運行する前は、職員がリュックを担いで各図書館を回って本を運んでいました。本を取り寄せるまでに、時間がかかりました。



目録は図書館の目次です

まだ図書館を使い慣れないAさん、何か本を捜してうろうろしています。そこへ通りかかったのは図書館の常連であるB氏……

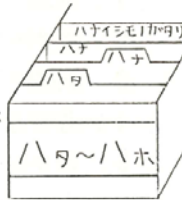
B 何を捜しているのかね。

A 芥川龍之介の「鼻」が読みたいのだけれど捜し方がわからなくて。

B まず目録カードをひいてみるといい。図書館の目次のようなもので、何があるか、それがどこにあるかが一目でわかるんだ。

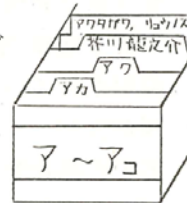
目録コーナーはカウンターの右手です。書名・著者・分類の3種類（児童書は書名・分類の2種類）の目録があり、目的によって使い分けます。カードは、その上部にカタカナで表示された標目（書名、著者名などの読み）の50音順に並んでいます。

A じゃあ書名目録でハナを捜せばいいのね。あら、花はあるけれど鼻というカードはないわ。この図書館にはないのかしら。



B そんなはずはない。念のため著者目録を見てみよう。芥川の本がどの位あるかわかるよ。

著者カードの標目は「アクタガワ、リュウノスケ」のように、「姓、名」の形になっています。



A あら、何十枚もあるわ。

B 芥川の本はこの枚数分あるわけだ。同じ著者のカードは書名順に並んでいるから、一枚ずついいねいに捜してみよう。

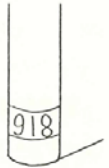
918	アワガワ, リュウノスケ	41013868	①
④書名	新編 日本文学 10 新潮社 昭和53 569 p 内容: 芥川龍之介集: 老牛, 羅生門, 鼻 [ほか]		
ア	アワガワ, リュウノスケ	41028457	②
④文庫本コーナー	羅生門・鼻・芋粥・偷盗 芥川竜之介 岩波書店 1979 173 p (岩波文庫 緑70=1)		○

この他、芥川龍之介全集、現代日本文学大系、新潮文庫などに「鼻」が入っていました。

A なるほど。「鼻」という書名の本はないけれど、全集に入っていたり、他の作品と一緒にあったり……捜せばちゃんとあるのね。これで本が図書館にあることはわかったけれど、どこにあるのかしら。カードの左右に番号が付いているけれど、何か関係ありそうね。

B そう、左上にあるのが分類記号、これと「〇〇コーナー」の印が本を捜す鍵になる。右上のは図書ナンバーで、予約の時に役に立つんだ。

図書館の本は内容によって分類され、一冊ずつに、ある記号がついています。本は、この番号順に並んでいるので、カードの分類記号を覚え、書架の表示を見ながら捜して下さい。さて、カード例①の本は918の棚にありますが、②の本は文庫本コーナーに別置されています。コーナーの中は、岩波文庫、新潮文庫などの叢書ごとに、分類順に並んでいます。②の分類アは芥川のアです。日本の小説は著者名の頭文字が分類記号となり、000～900の本とは別に、アイウエオ順に並んでいます。



A これだけ捜したら、芥川についての研究書も読みたくなったわ。

B 今度は「芥川について」という内容で捜すわけだから、分類目録だね。

目録コーナー壁面の「分類主綱表」でおおよその分類がわかります。さて910のひきだしには「文学者の伝記・作家研究」の見出しがあり、被伝者名が標目となっています。



910	アワガワ, リュウノスケ	41015312
④被伝者	追想 芥川龍之介 芥川文述 中野妙子 記 筑摩書房 昭和50 245 p	○

A ありがとう。これで私も図書館通ね!